テ新シイ時代ニ攜ガツタモノデアラウ。

## ○いぶきぜりノ所屬ニ就テ（北川政夫）

いぶきぜりハ日本ノ中部以北ノ高山ニ生ズルせり科ノ一草デアル。本種ハ Maximowicz 氏ニヨリ *Carum holopetalum* Maximowicz ト命名セラレタガ *Carum* 屬トハ異リ花柱盤ニ瘤狀突起ガ見ラレ，蕚片ハ極メテ明瞭デ互ニ接シ合ヒ，葉ハ單羽狀複葉デハナク明ラカニ三出羽狀複葉ヲ呈シ下部羽片ハ明瞭ナ小葉柄ヲ有スル。正ニ *Tilingia* 屬ノ性質ニ吻合スルモノデアルカラ玆ニ新タナ組合セヲ行フ。*Tilingia ajanensis* Regel しらねにんじん等ニ習性ガ相似テヰル。

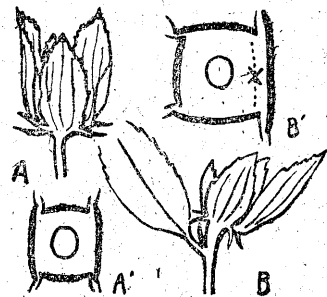
**Tilingia holopetala** (MAXIMOWICZ) KITAGAWA comb. nov.

*Carum holopetalum* MAXIMOWICZ in Bull. Acad. Imp. Sci. St.-Pétersb. 31 : p. 48 (1886) : in Mél. Biol. 12 : p. 46 (1886) ; YABE in Journ. Coll. Sci. Imp. Univ. Tokyo 16 Art. 4, p. 42, f. 20 (1902).

Nom. Jap. *Ibuki-zeri* いぶきぜり.

Area Geogr. Japonia bor.

## ○しろやまぶきノ蕚片一葉ガ葉ニ移行スル顯著ナル例（前川文夫）

しろやまぶき *Rhodotypos scandens* (Thunb.) Makino ノ花部ハばら科トシテハ珍ラシイ4數性デアルカラ蕚片モ亦4片ヨリ成リ，綠色葉質デ稍平行セル葉脈ヲ除ケバ，尋常葉ト近イモノヲ感ズル。基脚ノ兩側ニハ針形ニ尖ツタ軟質綠色ノ小片ガ開出シテ居ルガ，通常コレヲ小蕚片 Calyculus ト呼ンデ居ル。シカシナガラコレハ蕚片トハ別ノ輪上ニ排列スルモノデハナク蕚片ニ附隨スルモノデ，尋常葉ノ基脚ニ存スル托葉トソノ形態極メテ類似シ，正ニ托葉ト解スベキモノデアル。Zuccarini ハ既ニコノ事ヲ知ツテ居テ托葉ガ合シテ1個ノ苞ヲナストシテ居ルガ，事實兩者ガ相接シテ突出スル事ハヨクアルガ分レテ居ル方ガ多イ。蕚片ハ外輪2個ガ大キクテ最終ノ尋常葉ト交互シ內輪2個ハ稍小サイ事ハ圖 A 及 A′ ニ示スガ如クデアル。然ルニ中ニハ B 及ビ B′ ノ樣ニ外觀上3輪ヨリ成リ第1輪ハ最大1個，第2輪ハ中大2個，第3輪ハ小1個ノモノガアツタ。コレハヨク見ルトBノ左側ニ尋常葉的ノ形態ノモノガ1個ダケ孤立シテ居テ，第1輪ノ1個ノ大蕚片ハ實ハコレニ對生スルノガズレテ蕚片樣ヲ呈シタモノデアリ，從ツテ第3輪ハソノ對應スベキ1蕚片ヲ第1輪ノ蕚片ノ存在ト4個ナル限定數ノ爲ニ消失シテシマツ

しろやまぶきノ

A　正常ノ蕚片　A′ 同上ノ排列ヲ示シ各蕚片ノ兩緣ノ突出部ハ托葉ヲ意味スル

B　異常ノ蕚片ガ尋常葉ト關聯アルヲ示ス

B′　同上ノ蕚片ノ排列，×ハ缺如ノ意。

タモノデアツタ。尋常葉ノ一部ガ直チニ蕚片トナリ，他ノ蕚片ガ調整ヲ受クル事及ビ蕚片ガ托葉ヲ遺存スル事ノ點ニ於テ蕚片ノ原始型トシテ著シイノデコヽニ掲ゲタ次第デアル。（昭和19年7月記）

**○ななめのき及ビくろがねもちノ語源**（前川文夫）

白井光太郎博士，樹木和名考ニハ記事アレド語源ニ觸レズ，牧野先生ハ後者ニ對シソノ枝ガ黒色ヲ帶ブル故ナラムト記サレタ。本草鏡ニハ『一種くろがねもち一名ななみの木，葉さかきノ葉ニ似テ小圓ニシテ厚ク色濃』トイヒ，本草綱目啓蒙補遺ニ『くろがねもち三種，一種ハ實甚ダ多キモノアリ，筑前なのみ，肥前にはなのみ，一種，葉先ノ尖ルモノアリ，なのみ，又なのめ』トアル樣ニ兩者ヲ稍混淆スル。コノコトハ *Ilex* ノ各種ハ外觀ノ類似點多キヲ示シ，從ツテ又果實ノ長短ヤ葉色ノ變化等デ區別ヲ見出サウトシタ事モ考ヘラレル。ソコデななめのきハななみのき＝ながみのき＝長實の木デくろがねもちヤもちニ比シテ長味ノ實ノ成ルコトカラ名ガ出來，くろがねもちハもちニ較ベテ葉ガ乾ケバ黒褐色トナリ鐵ヲ聯想サセル色ニナルノニヨルカト思フ。

ななめのきハ西日本殊ニ九州ニ多イガ，揚子江流域ニモ相當ニ多イ。山地ヨリモ寧ロ人家聚落ノ周邊ニ可成ノ大木ニ成ツテ居ルノガ普通デ多靑或ハ凍靑（Tonzin）ト云フ。10–11月ニハ橢圓體ノ果ハ黄色，12月–2月ニハ紅化シテ朱玉累々トナリ，葉ノ綠ハ冴エテ多靑ノ名ガ如何ニモフサハシク見エタ。4月ニナルト紅色衰ヘテ褐色トナル。（昭和19年8月記）

**○匂ノ受ケトリ方**（前川文夫）

ヨク知ラレテ居ルあづさ，ねこしでノ枝ヲ切ツタ時，或ハしらたまのきノ果實等ノサリチル酸エステルノ匂ハ薬サロメチールノ匂デアツテ，私共ニハ芳香ノ部ニ入レテ差支ヘナイト思フ。シカルニコノあづさニよぐそみねばりノ名ガ廣ク通用シテ居テ夜糞峰榛トナルガ，コノ糞臭ト受ケトル匂ガ別ノ個所ニアルナラ話ハワカルガ，ソウイフトコロモナイノデサロメチールノ匂ヲ糞臭トシテ受ケトツタ時代ガアツタト考ヘナクテハナラナイ。コレハ私共ニハ解セナイ處デアツタ。トコロガ昭和20年夏ニ宮城縣川渡ニ行ツタ時，同縣古川町ノ知人カラ次ノ經驗談ヲ聞イテナルホドトワカツタノデアル。數年前古川町ノ中學校デ運動會ガアツタトキアル選手ガサロメチールヲ手足ニスリ込ンダトコロ，側ニ居タ一老婆ガ急ニもぐらガ屁ヲヒツタ，臭イカラモウカヘロウトイツテカヘツテシマツタノヲ見且ツ聞イタトイフノデアル。あづさヲ用ヒテノ直接證明デハナイケレドモ匂ノ受ケトリ方ガ時代ト共ニ甚ダシクカハルトイフコト，匂ノ表現ニハ絕對ノ尺度ガナクテ當事者ノ經驗ト感覺トカラ割リ出サレタ他ノモノトノ類似トイフ點デノミ表現サレルコトヲ考ヘルト語源ニ織リ込マレタ匂ハコレ又難問題ヲ提供スルコトニナル。